

図・書・紹・介

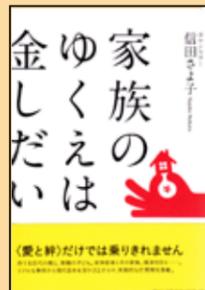
・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。  
 【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時  
 ※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。



『よりよく生き延びるー3・11と男女共同参画センター』  
 せんだい男女共同参画財団／新潮社  
 ◆「仙台市男女共同参画推進センター」の「3.11」からの日々を追った記録。初めての緊急事態に、何をしたらどう動いたらよいか、内部でのやりとりや、試行錯誤し「電話相談」「ガールズプロジェクト」「洗濯支援」など、心に寄り添う支援を進めていった職員たちの生の声。



『「女子」という呪い』  
 雨宮処凛 集英社  
 ◆著者が「ジェンダー問題を真正面から扱った一冊」と記すとおり、女性であるがゆえの苦悩や理不尽な出来事が綴られている。3章「呪いと闘う女たち」は必読。登場するのは世間で大注目の個性あふれる女性たち。



『家族のゆくえは金しだい』  
 信田さよ子 春秋社  
 ◆家族の引きこもりや依存症など、家庭問題をとくカギは「お金」だと指摘する。限界を感じる母へのアドバイスや具体的な対処法も記述もあり、心のよりどころとなる参考書。



図書コーナーをご利用ください

●男女共同参画に関する書籍のほか、話題を呼んだ一般書籍 (ex.「銀河鉄道の父」) や絵本も多く取り揃えております。ぜひお立ち寄りください!

ひとりで悩まないで... 気軽に相談を...



女性専用電話相談です。相談は無料で秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
13:00～16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始(12/29～1/3)、祝日、月曜日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど...

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センターのご案内



●お車で越しの際は、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。(2時間まで無料)

●開館時間：火～金 9:00～21:00  
 土・日・祝 9:00～17:00

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)  
 12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12

電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214

メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



センターHP QRコード

●研修室の貸出しを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



●大研修室《半日：3,600円》 ●中研修室《半日：1,640円》

●編●集●後●記●

先日、国立女性会館主催の「地域における男女共同参画推進リーダー研修」に参加しました。「男女共同参画はどこまで進んだか」をテーマに、国の最新施策情報、女性活躍推進の実践事例などを通じて様々な視点から現状と課題を勉強しました。特に、参加者同士による情報交換会では、それぞれの地域の実情や抱えている課題など聞くことができました。しかし、皆さん、非常に明るく前向きに、一所懸命取り組んでおり、よい刺激になりました。充実した研修で、3日間、一度も寝そうにならなかったよねと参加者同士笑い合いました。(早)

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2018年6月

No.50



ぐんま男女共同参画センター  
 〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12  
 TEL: 027-224-2211  
 FAX: 027-224-2214  
 メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

インタビューコーナー 第25回  
 ぐんまのうぎょういんかい じよせいネットワークかいちよう  
 ぐんま農業委員会女性ネットワーク会長 あおき あけみ  
 まえばししのうぎょういん 前橋市農業委員 青木 朱美さんに聞く



～心が豊かになると心がおだやかになれる～

●女性農業委員のいるメリット

現在、女性組織とともに、ぐんま農業委員会女性ネットワーク会長として、女性農業委員を増やすため、各市町村長・議長へ女性登用要請活動を行っています。しかし、「女性に農業委員になってほしいと依頼しても受ける女性が少ない。」と言われ、それではもったいないので人材育成のための勉強会をやっていました。私にとって仲間や地域の人達と活動することが、生活のメリハリとなり、明るく前向きに農業ができました。旧富士見村から様々な役職の依頼があり、農業の魅力を発信できる機会と捉えて、いろいろと引き受けたのがきっかけです。

きに出たくても、なかなか働けない。でも、うちの畑には若い女性7人に働いてもらっています。子育て中の女性を応援するため、お互い様の考え方で、働けないときはみんなでカバー。バックアップする環境をつくると、働く人もそれに応えようがんばってくれます。また、畑に若い女性がいるだけで明るい！私も楽しく、若返ります。スマホの使い方などいろいろ教えてもらっていますよ。

●社会参画のきっかけ

若い頃からボランティア活動や農業青年クラブの会長などを楽しくやってきました。私にとって仲間や地域の人達と活動することが、生活のメリハリとなり、明るく前向きに農業ができました。旧富士見村から様々な役職の依頼があり、農業の魅力を発信できる機会と捉えて、いろいろと引き受けたのがきっかけです。

●旧富士見村 初代女性農業委員

様々な活動していた自分に旧富士見村から農業委員になってほしいとの声がかかりました。初代女性農業委員ということでその一挙一動、注目されました。しかし、男性農業委員と同じ仕事をきちんとこなす姿勢に、同じ目的を持った仲間として自然に受け入れられました。男性委員から「女性も同じように議論も発言もできるし、今まで気づけなかった視点で前向きに発言してくれる。」と言われ、そう感じて家庭や地域で伝えてくれる男性が一人でも増えれば、社会は変わるなど思いました。次に続く女性のためにも初代の自分達がしっかり道筋をつけなければ！と決意しました。

●両立のために工夫

女性が地域の役職で外に出ることは本当に大変、まずは、自分の農業経営をきちんとやらないと、地域の人にも応援してくれません。帰ってきたら、すぐ着替え軽トラに乗って畑に出ることもしばしば。家族には、外に出ることの必要性をきちんと伝えて理解を得ています。夫も様々な役職を引き受けてきたので、大変さもわかっているため、早く送り出してくれます。だからこそ、いつも感謝の気持ちを言葉で伝えています。

●子育て中のパートさんへの支援

子育て中のお母さんは、子どもの急な病気、学校行事など制限がかかり働

●これからの女性に一言

自分が今いる場だけでなく、一歩踏み出して様々な経験をしてほしい。思っている以上に楽しい世界があります。「大いに学び、大いに遊ぶ、大いに働く」ことで、心も大きく穏やかになり、世の中を見る目も優しくなります。



大臣賞受賞者パネルディスカッション



農山漁村女性活躍表彰式～農林水産大臣賞受賞～

インタビューコーナーでは、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。